

平成31年3月11日

平成30年度 保育所の自己評価について

新鶴見はなかが保育園

【本園の保育方針と保育目標】

心・技・体を育み、子どもの個性と可能性を拓ける

- ・心身ともに健やかな子ども
- ・優しい心、思いやる心、道徳心のある子ども
- ・基本的な生活習慣やマナーを身につける
- ・丈夫な体づくり
- ・就学に向けての基礎を学ぶ

【今年度の課題】

1. 手遊び・リズム遊び・体操等を多く取り入れ、遊びの幅を広げる
2. 地域との交流を深めるための取り組みを工夫する
3. 子どもたちが主体となる環境設定に力を入れる

【取り組み状況】

1. 月に一度の朝礼を行い、簡単な動きや真似しやすい動き・リズム遊び・手遊びを毎日取り入れ日常生活の一環として行った。また、体操やリズム遊びなど体を動かすことはできたが遊びの幅を広げられず工夫を必要とする。
2. 定期的に育児講座を企画し、園外で紙芝居などの読み聞かせを行い、地域の方に参加してもらえよう努めたが、交流保育の機会には参加者が集まらなかった。
3. 子ども達から出たアイデアを形にして表現することができた。また、発達に合わせて玩具の用意をした。その他、子どもたち一人ひとりの生活のリズムを崩さないよう体調等に留意しながら関わった。

【保護者の方からの意見等】

- ・金銭授受方法について
- ・写真料金について
- ・お子様のお誘いについて

【2019年度の課題】

1. 遊びの環境を工夫し、自分で考え発展した遊びに繋がられるようにする
2. 異年齢児や縦割り保育を取り入れ、相手を思いやり、優しい心・気持ちをより育む
3. 誰もが安心して子育てができるコミュニティの拠点としての場作りを目指す